



きらきら Eyeランド
JA庄内みどり

安全・安心をお届けいたします

グリーンプロジェクト情報 第8号

発行：庄内みどり農業協同組合
協力：酒田農業技術普及課

圃場による生育のバラつきあり！ 正確な穂肥診断は増収へのカギ！

6月29日現在、草丈はやや短め、茎数・葉齢は平年並みで進展し、葉色は濃く推移しています。作溝・中干しの徹底により穂肥ができる稲姿に仕上げましょう。

圃場により生育のバラつきがあるため、穂肥時期・施肥量を判断するには稲の生育を正確に診断・把握することが重要です。

また、これからは葉いもちや斑点米カメムシ類、大豆では食葉性害虫やアブラムシ等が発生する時期となります。草刈りの徹底を図り、病虫害発生の未然防止に心がけましょう。

◎現在の生育状況（6月29日現在の作柄診断圃データ）（ ）内は平年対比

つくばSD2号・雪若丸については、（ ）内は指標対比

品 種	草 丈	茎 数	葉 齢	葉色 (SPAD)
は え ぬ き	42.9 cm (94)	685 本/m ² (107)	9.1 (-0.2)	42.9 (+1.6)
ひとめぼれ	43.3 cm (93)	517 本/m ² (94)	9.3 (+0.1)	40.8 (+0.6)
つ や 姫	40.3 cm (92)	503 本/m ² (102)	9.0 (±0.0)	44.3 (+2.1)
つくばSD2号	42.1 cm (95)	600 本/m ² (95)	9.3 (-0.1)	42.6 (-0.9)
雪 若 丸	42.0 cm (96)	734 本/m ² (112)	9.5 (±0.0)	44.2 (+2.0)

◎6月29日現在の土壌アンモニウム態窒素残存量

土壌残存アンモニウム態窒素は、稲の生育に伴ってほぼ平年並みに低下してきています。引き続き中干しを徹底し土壌の窒素低下を図りましょう。

今年の葉齢の進展は平年並から1日遅くなっており、今後の穂肥作業は生育診断に基づき、適期に行いましょう。

技、其の一 作溝・中干しの徹底を！

今年は、田ワキの遅延により生育にバラつきが見られ、中干しの不十分な圃場が見受けられます。暗渠排水を利用し、穂肥までにはぬからない程度となるよう、中干しの徹底が重要です。ただし、目標茎数を確保できていない場合は足跡がつく程度（弱め）にとどめましょう。幼穂形成期から穂揃期にかけては水分と酸素を最も多く必要とします。中干し後は、走り水により徐々に慣らし、出穂前まで間断灌水（2日湛水2日落水）を続けましょう。用水不足時の対応と間断灌水を効率的に行う為にも、仕上げ作溝は早期に行いましょう。

技、其の二 カメムシ対策はこまめな草刈りで！

カメムシ類の増殖を抑えるため「こまめな草刈り」と「圃場内の雑草（ヒエ、ホタルイ等）の除去」を徹底し、地域ぐるみで発生密度の低減を図ることが重要です。草刈りは8月上旬の無人ヘリ防除の直前までに終わるようにしましょう。その後、8月中の草刈りは行わないようにしましょう。

☆葉いもちの発生に注意！！

今後の天候次第では発生する恐れがありますので、葉色が濃いところや、昨年発生した圃場では注意深く観察し発生が確認されたら最寄の営農課へご相談ください。

技、其の三 予想出穂期(6月29日現在)

☆今年の出穂期は、“1～2日遅い”と予想しています。

どまんなか	雪若丸	はえぬき ひとめぼれ	つや姫(コヒカリ)	つくばSD2号
8/2～	8/6～	8/6～	8/12～	8/13～

技、其の四 穂肥は的確な生育診断で適期に適量を！

穂肥が適期にできる稲の条件は①葉色が低下している②葉伸びしていない③茎数がすっきりしていることです。（下表参考）

品 種	葉色	草丈 (cm)	茎 数 (本/m ²)	穂肥対応 (N成分kg/10a)					
				-30日	-25日	-20日	-18日	-15日	-10日
はえぬき	4.8	60	630以下		2.0		(1.0)		
はえぬき(低地力)				1.5~2.0		1.0~1.5			
ひとめぼれ	4.5	60以下	630以下			1.5			(1.0)
どまんなか	4.5	63以下	630以下		2.0				
雪若丸	5.2	55以下	670以下		1.5				
つや姫	4.8	60	550以下	1.5	みどり特裁穂肥028号				
つや姫(高地力)				1.2	庄内穂肥専用545, らくらく522				

※（ ）内の数値は、穂肥施用後に葉色が維持できない場合は実施する。

※葉色板(フジカラスケール)と葉緑素計 (SPAD) の換算値 (目安)

{(SPAD値)+10} ÷ 10 = 葉色板の値 (例) (38+10) ÷ 10 = 4.8 ← 葉色板の値

技、其の五 葉色が濃い稲への対応！

はえぬき (11.0 葉期) 出穂前25日の葉色	5.0以上⇒ N成分1.0kg/10aに減肥して施用する。ただし(4.0以上) 葉色5.5以上の場合、穂肥は行わない。(ケイ酸追肥は可)
ひとめぼれ (11.5 葉期) 出穂前20日の葉色	4.8以上⇒ 葉色低下を待って対応、ただし出穂前10日になっても(3.8以上) 葉色が濃ければ穂肥は行わない。(ケイ酸追肥は可)
つや姫 (10.5 葉期) 出穂前30日の葉色	4.9~5.1⇒ N成分1.0kg/10aに減肥して施用する。(3.9~4.1) 5.2以上⇒ 25日前までに適正葉色まで低下しない場合、穂肥は(4.2以上) 行わない。(ケイ酸追肥は可)
雪若丸 (10.7 葉期) 出穂前25日の葉色	5.4以上⇒ N成分0.5~1.0kg/10aに減肥して施用する。(4.4以上)

技、其の六 倒伏軽減対策！

生育が過剰となり倒伏が懸念される場合には、倒伏軽減剤を使用します。

○ひとめぼれ

稈長82cm以上となり、倒伏が懸念される出穂20日前（11.5葉期）の稲姿

草丈 (cm)	葉色	生育量 (cm×本/m ²)	1株当り本数 (70株植え)
62	5.0	39,000	30本以上

◆使用薬剤

薬剤名	使用時期	散布量	備考
ロミカ粒剤	出穂前25～10日	2～3kg/10a	上位節間伸長抑制
スマレクト粒剤	出穂前20～7日	2～3kg/10a	

※特別栽培米は、倒伏軽減剤及び倒伏軽減剤入り肥料は使用できませんのでご注意ください。

※スマレクト粒剤の重複散布や多量散布は、後作物や次年度の作物に影響する場合がありますので使用量に注意しましょう。

※穂肥が行えない圃場には、ケイ酸資材を使用しましょう。

<直播情報>

◎湛水直播(鉄コーティング直播)で茎数不足の圃場では、つなぎ肥や浅水管理で引き続き茎数確保に努め、遅くとも9葉期(7月中旬)までには中干しに入りましょう。根張りを良くし、耐倒伏性を高めるためにも必ず実施して下さい。

<大豆情報>

◎降雨時は、こまめに圃場を見回り、早期に明渠の手直しなどを実施し、停滞水の排水に努めましょう。大豆の根を湿害から守るため、できるだけ速やかな排水対策を行ないましょう。

◎天候に合わせ、**培土**を遅れずに実施しましょう。**(雑草対策も！)**

◎食葉性害虫やアブラムシ類の発生が心配されます。高温・乾燥で発生が急増した過去の例もありますので、圃場・生育観察で早期発見・被害防止に努めましょう。

<農薬飛散防止対策について>

残留農薬等のポジティブリスト制度に伴い、粉剤等で防除を実施する場合には、周辺の園芸作物の種類、収穫時期等を事前に把握し、農薬の飛散防止・低減対策を確実に行ないましょう。特に農薬散布時には、風速・風向に注意して下さい。

しっかり育てよう！庄内みどりのつや姫



つや姫・雪若丸情報コーナー



速やかに中干しを行い、穂肥のできる稲姿に仕上げよう！

●穂肥時期は、雪若丸は出穂の25日前、つや姫は有機質入り肥料で出穂の30日前です。遅れずに穂肥ができるように準備しましょう。

●葉色の濃いつや姫には、**適期適量の穂肥施用ができません**。茎数が多い・葉色が濃い圃場では、**やや強めの中干しを継続**しましょう。

園芸情報

【長ネギ 露地春どり栽培 (春ねぎ)】

定植後の管理とポイント

春ねぎは、例年需要も高く販売についても安定価格で推移しています。しかし、従来の秋冬ねぎ栽培と比較して栽培期間が長く収穫期間は短い事もあり、面積の拡大に結びついていないのが現状となっています。

春ねぎ栽培のポイントを以下に記載しますので参考下さい。

○使用品種

一般的に晩抽性品種を使用します。(「羽緑一本太や「初夏扇」など)

○主な栽培管理推移

§ 播種時期

5月下旬～6月下旬頃(育苗期間が高温時期の為に温度の上り過ぎ・乾燥に注意)に行います。育苗期間の温度管理適温は15℃～20℃ 30℃を超えない管理を心がけましょう。

§ 定植時期

7月上旬～8月上旬頃までに行います。

§ 収穫時期

翌年4月下旬～5月中旬頃に収穫を迎えます。



抽苔前に収穫
しましょう！

○管理のポイント

栽培のポイントは冬越しに入るまで全体の7割～8割の生育を確保することです。土寄せは追肥とともに実施し、冬までに2回、越冬後に1回行います。また、生育量の確保と越冬率を高めるため、圃場の排水対策を徹底しましょう。肥料切れは春の抽苔を早めます。越冬前にロング肥料を施用すると肥料切れの軽減が期待されます。晩抽性品種とはいえ抽苔はするので、**抽苔までに軟白長を確保**し、計画収穫を行きましょう。軟白長の伸びが足りない場合は、土寄せを追加します。4月収穫は前年の**越冬前の葉が商品になる**ので、葉を綺麗に管理しましょう。また5月収穫はべと病、さび病が出やすい時期になるため、早めの予防防除を徹底します。

○抽苔(ネギ坊主発生)時期の予測

収穫が近づいた頃、4月から複数回ネギの**試し掘り**をし、包丁で縦に切ってみてネギ坊主の上に何枚葉があるか確認します。1枚展開するのに7日～10日かかります。葉が2枚あれば14日～20日、3枚あれば21日～30日かけて葉が展開してネギ坊主が出てきます。したがって、その前に収穫を終える必要があります。

★次号の発行は7月20日です！